

## 研究主題 書字文化を大切にし、文字感覚を高める書写指導

### テーマ 学習過程を重視した指導方法の改善

#### I 団体について

##### 【団体の概要】

学習指導要領に示された目標を踏まえ、書写の基礎・基本的な知識及び技能や主体的に学習に取り組む態度の育成を図る指導方法の工夫について、研修会を通して研究・実践交流をしている。

##### 【団体の取組み】

年間の主な取組みは次のとおりである。

- ① 6月 定期総会/研修会 書き初め撰文、書き初め執筆者選定  
(書き初め紙上展の課題文字を決定し、執筆者を選定する)
- ② 7月 研修会 書き初め文字基準確認  
(執筆者が試作した文字基準について検討する)
- ③ 8月 研修会 書き初め文字基準完成  
(執筆者による文字基準を再度検討し、完成させる)
- ④ 9月 研修会 研究発表会に向けた指導案検討(1)  
(授業担当者が提案した学習指導案について検討する)
- ⑤ 10月 研修会 研究発表会に向けた指導案検討(2)  
(授業担当者が提案した学習指導案について検討する)
- ⑥ 11月 研修会 書き初め指導法の研修(1)  
(書き初めの執筆者による文字基準の要点等解説を聞き、指導法を学ぶ) 右上に続く▶

##### ⑦ 11月 研究発表会/研修会 書き初め指導法の研修(2)

(公開授業(練馬区立石神井東中学校:林円主任教諭)と研究協議会/書き初めの執筆者による文字基準の要点等解説を聞き、指導法を学ぶ)

##### ⑧ 2月 研修会 書き初め紙上展の審査

(書き初め指導法研修会参加者から審査会の参加者を募り、審査しながら審査法を学ぶ)

##### ⑨ 3月 書き初め展授賞式

その他の活動として、年度末に研究紀要の発行・配布を行っている。

#### II 研究について(1)

##### 【研究の目的】

生徒の主体的に学習に取り組む態度を養い、書写の知識・技能を高めるために、主体的・対話的で深い学び、個別最適な学びの成就を図る。

##### 【研究の方法】

- ① 学習過程を理解し、課題文字との主体的・対話的な学びを通して、文字文化に触れながら書く意識及び書写の知識・技能を向上させる。
- ② ICTを活用し、筆の動かし方等を学ぶことや自分の書いた文字と文字基準を比較し、「課題」を自ら見出すことによって、具体的にその改善に向けて取り組ませる。

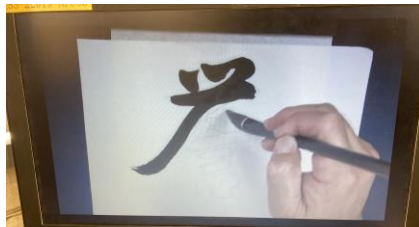
### Ⅲ 研究について(2)

#### 【研究の内容】

- ① 書き初めの課題文字について、平仮名の字源などの概略や行書の運筆のリズムを理解させ、筆使いなどを知るためにそら書きを行う。
- ② 大型提示装置により筆使い動画を視聴させ、試書を行う。
- ③ 試書した文字と課題文字を比較する。  
「良かったところ」及び「課題」を自分で考える。
- ④ 大型提示装置で筆使い動画を見ながら課題解決を目指して練習する。
- ⑤ 自己の課題を意識し、行書の特徴を理解しながらまとめ書きを作成する。
- ⑥ まとめ書きを一枚提出する。
- ⑦ 本時の学習について振り返る。(振り返りワークシート)



↑ 留意点を伝える様子



↑ 筆使い動画視聴



↑ 行書の特徴を理解しながらまとめ書きを作成

### Ⅳ 研究の成果と課題（まとめ）

#### 【研究の成果】

- ・ICTの活用により「自分のペースで大型提示装置により筆使い動画を何度でも見て確認できる」といった利点が見られた。
- ・「課題」を選択させ、課題文字に対して主体的・対話的な学習に取り組むことで、個別最適化を意識した学習の展開ができた。



#### 【研究の課題】

- ・大型提示装置で筆使い動画を見ながら、自己の課題を意識して課題改善に取り組ませることについて、集中力や関心・意欲等を持続させるための声掛けなどの工夫が必要である。

#### <令和6年度連絡先>

団体名		東京都中学校書写教育研究会	
代表者	所属	杉並区立阿佐ヶ谷中学校	
	職 氏名	校長 齋藤 健一	
	連絡先	03-3314-2261	
事務局	所属	杉並区立井荻中学校	
	職 氏名	主幹教諭 池田 水帆	
	連絡先	03-3399-0148	
団体ホームページ	URL	—	二次元コード
		—	—